

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.81

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	住宅安心リフォーム支援事業	担当部署	経済建設部 まちづくり課	
総合計画体系				根拠法令 計画など		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		事業 期間	開始	平成 <input type="text" value="26"/> 年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまちなると				
(小項目)		居住環境			終期	<input type="text" value="未定"/>
施策	1	良好な居住環境の整備				
基本事業	2	安全で安心な居住環境の整備				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要(PLAN)

目的	住宅・住環境の向上と良好な住宅ストック形成の促進を図るとともに、市民の消費活動と雇用機会の創出を促し地域経済の活性化を図る。		事業内容(R1)	補助率20%、補助限度額20万円で40戸の募集を行い、予算の範囲内で追加募集を行う。				
実施方針	市内に住民登録を行い、市税の滞納がない者。補助金の交付を受けようとする者の世帯全員の前年度所得合計金額が550万円未満の者などを対象に、住宅リフォーム経費を助成する。							当初からの変更点
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	広報誌等掲載	3	1	2	2	2	回
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	リフォーム実施戸数		49	44	40	40	40	戸

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	広報誌や公式ウェブサイトに掲載するなど、支援制度を周知した。	広報誌や公式ウェブサイトに掲載するなど、支援制度を周知した。	継続	継続	継続

事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	8,014	0	8,014	8,014	8,014

事務事業名	住宅安心リフォーム支援事業
-------	---------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容		広報誌や公式ウェブサイトに掲載するなど、支援制度を周知した。					
指標名			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	広報誌等掲載	1	2	2	2	2	回
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	リフォーム実施戸数		44	45	40	40	40	戸
	目標達成率(実績/目標)			112.5	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		7,887,334	0	7,812,816	0	7,812,816	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
一般財源		7,887,334	0	7,812,816	0	7,812,816		

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	リフォーム実施戸数		成果指標に対する所見	実施戸数が目標戸数を上回った。		
	目標	40	戸				
	実績	45	戸				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	目標戸数を上回る申し込みがあったが、今後は減少することも考えられるため、申込数の確保に向けた取り組みを継続する必要がある。					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。						
実施内容	令和2年度	広報誌や公式ウェブサイトに掲載するなど、支援制度の周知に努める。申し込み方法を検討し、申請者の負担軽減を図る。				
	令和3年度	R2年度の課題を改善し、取り組みを進める。				